

## 〔国際会議開催〕

申請者	筑波大学 教授 牧野 昭二	2175013
国際会議名称	第 16 回音響信号強調国際会議	
開催期間	2018 年 9 月 17 日～9 月 20 日	
開催場所	一橋講堂 (東京都千代田区)	
申請者の役割	組織委員長	

## 概要：

情報工学におけるエコーとノイズは重要な問題であり、国際標準機関 ITU-T (旧 CCITT) でも G.165 (ECHO CANCELLERS), G.167 (ACOUSTIC ECHO CONTROLLERS) として規定されるに至っている。本国際会議は、上記 G.167 の策定に携わった主要メンバが、より深い技術的議論の場として設立したものであり、その後、マイクロホンアレー信号処理分野を加え、さらに、音響信号強調に関する信号処理理論とアプリケーションを対象とするに至り、今回で 16 回目になる。本国際会議において提案され議論された技術は、人間と機械の調和を促進する、デジタル補聴器、通信会議システム、エコーキャンセラ、マイクロホンアレー、等の多方面で実用化され市場導入されており、学術的な貢献ばかりでなく、実用製品を生み出すことによる情報工学の普及にも多大に貢献している。

本国際会議は、1989 年に第一回が開催されて以来、隔年で開催され、約 30 年の歴史を持つ。ここ 20 年は毎回順調に 100 名程度の参加者を集めており、情報工学の分野で、研究交流を深め、グローバルに活動できる若手人材の育成ならびに科学技術の振興に寄与している。本国際会議は、情報工学に関連する国際交流に資するものであり、情報工学に関する貴重な知見を広く社会で共有させることにより、今後の技術と社会の発展のための重要な役割を果たしている。

音響信号処理技術は情報工学におけるキーコンポーネントであり、音響エコー制御、ノイズ制御、音響信号の分離・回復・強調、アプリケーション(音声通信システム、音声会議システム、音声制御システム、等)などの広汎な分野から 26ヶ国総勢 250 名の参加者が集まり横断的で活発な議論が行なわれた。